資料4
科学技術・学術審議会産業連携・地域支援部会
地域科学技術イノベーション推進委員会（第6回）
H28.10.17

報道発表

文部科学省 MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS, SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

平成２８年９月２８日

平成２８年度地域イノベーション・エコシステム形成プログラム 支援対象地域の決定について

文部科学省の支援施策である平成２８年度「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」に応募があった地域の提案の中から、外部有識者の審査を踏まえ、４件の採択を決定しましたのでお知らせします。

＜別添１＞平成２８年度地域イノベーション・エコシステム形成プログラム支援対象地域一覧
＜別添２＞平成２８年度地域イノベーション・エコシステム形成プログラム推進委員会委員一覧

１．地域イノベーション・エコシステム形成プログラムについて

（１）概要

地域の成長に貢献しようとする地域大学に事業プロデュースチームを創設し、地域の競争力の源泉（コア技術等）を核に、地域内外の人材や技術を取り込み、グローバル展開が可能な事業化計画を策定し、社会的インパクトが大きく地域の成長とともに国富の増大に資する事業化プロジェクトを推進します。日本型イノベーション・エコシステムの形成と地方創生を実現するものです。

２．選定方法

（１）公募結果

公募期間：平成２８年３月２２日（火曜日）～５月３１日（火曜日）
提案件数：３２件

（２）審査・選定方法

「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム公募要領」及び「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム審査実施要領」に基づき、外部有識者により構成される「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム推進委員会」における審査を踏まえ、文部科学省において採択を行いました。

（お問い合わせ）
科学技術・学術政策局
産業連携・地域支援課長　坂本　修一
地域支援企画官　寺崎　智宏
係長　鈴木　規生
電話：０３－５２５３－４１１１（内線３８９４）
０３－６７３４－４１９４（直通）

別添１

平成２８年度地域イノベーション・エコシステム形成プログラム支援対象地域一覧

	大学等	自治体	拠点計画のテーマ名	事業概要
1	一般社団法人つくばグローバル・イノベーション推進機構	茨城県	つくばイノベーション・エコシステムの構築（医療・先進技術シーズを用いた超スマート社会の創成事業）	加齢に伴う眼疾患の早期発見・治療を実現する革新的な眼疾患検査法や、世界中の眠りに悩む人々への睡眠計測が可能なウェアラブルディバイス等、つくばの医療・先進技術シーズを用いて世界水準の事業化を推進する。また、イノベーション・エコシステムの構築に向けて、つくば全域のシーズを発掘し、地域内外の研究機関・企業等との連携を推進する。
2	国立大学法人静岡大学	浜松市	光の尖端都市「浜松」が創成するメディカルフォトニクスの新技術	顕微鏡手術のようなマイクロ手術が可能な低侵襲立体内視鏡開発に係るプロジェクトや、高性能なイメージセンサを用いた周辺機器に係るプロジェクトを推進するとともに、光の尖端都市である「浜松」において、地元企業との連携を進め、持続的・連鎖的な光技術の具現化を推進する。
3	国立大学法人九州大学	福岡県	九州大学の研究成果を技術コアとした有機光デバイスシステムバレーの創成	TV/スマホ/照明等用途向発光材料及び、デバイスの高耐久性に向けた製造プロセスに係るプロジェクト等、第三世代の有機EL発光材料を核とした事業化プロジェクトを展開する。加えて、福岡県の研究機関を中心に、企業との共同研究や産学官による実用化研究を行い産業化を進める。
4	国立大学法人九州工業大学	北九州市	IoTによるアクティブシニア活躍都市基盤開発事業	非接触生体センサ（心拍波形、呼吸波形、体動波形等）を活用したＩｏＴビジネスへの展開を図りつつ、多くの研究機関が集積している北九州学術研究都市の特性を活かしながら、高齢化が進む北九州市において、IoT関係の周辺企業等との連携を推進する。

別添２

平成２８年度　地域イノベーション・エコシステム形成プログラム推進委員会
委員一覧（五十音順・敬称略）
（◎は座長、役職は平成２８年６月現在）

	稲　葉　太　郎	レミジェス・ベンチャーズ株式会社　代表取締役
	浦　田　興　優	日本材料技研株式会社　代表取締役
◎	西　澤　民　夫	一般社団法人オープンイノベーション促進協議会　代表理事
	服　部　健　一	株式会社産業革新機構　戦略投資グループ マネージングディレクター
	保　田　隆　明	国立大学法人神戸大学大学院経営学研究科　准教授
	柳　澤　　修	SmartLend 株式会社　代表取締役